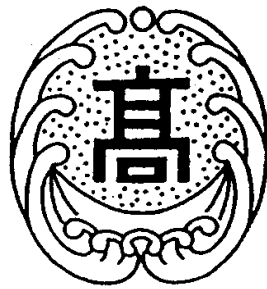


令和 3 年度

定期総会議案書



静岡県立浜名高等学校同窓会

令和3年度浜名高等学校同窓会定期総会 次第

1 会長挨拶

2 学校長挨拶

3 議 事

認 第 1 号 令和2年度事業報告

認 第 2 号 令和2年度一般会計収支決算

認 第 3 号 令和2年度基金会計収支決算

認 第 4 号 令和2年度財産目録

監報第1号 監査の結果報告

第1号議案 令和3・4年度役員選任について

第2号議案 令和3年度事業計画

第3号議案 令和3年度一般会計収支予算

第4号議案 令和3年度基金会計収支予算

令和3年6月10日

浜名高等学校同窓会 常任理事 各位

同窓会長 福田幹男

総会及び理事会の中止について

理事及び会員の皆様方には、日ごろから同窓会活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

同窓会では、在校生が勉学及び部活動に専念し、有意義な学校活動がおくれるよう、生徒たち等の活動に助成しているものであります。

しかし昨年度は新型コロナウイルスの感染防止のため、一時期、授業だけでなくクラブ活動等も中止が余儀なくされてしまいました。同窓会では、生徒を元気づけるため、横断幕やステッカーの配付をいたしました。

さて、本年も総会開催の時期となりましたが、新型コロナウイルスは依然として蔓延傾向にあり、特に浜北区においてはクラスターの発生も起きているところであります。

このため、5月25日に開催した正副会長会において検討した結果、密を避けるため、やむを得なく昨年度に続き本年度の理事会及び総会は中止することいたしました。議案については正副会長会で了承されましたので、皆さま方に議案書を送付することでご了承に代えさせていただきたくお願い申し上げます。

本来ならば、学校職員とともに役員の皆様方と親しく交じり合いたいものですが、時下の情勢から、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

一方、浜名高校は来年で創立110周年を迎えることとなりました。このため学校、後援会等で組織する実行委員会を組織し、対応していくこととなりましたので、このことに対しても皆様方のご支援を願うものでございます。大同窓会と同年開催となってしまいましたが、コロナの感染状況をみながら準備を進めていきたいと思っています。

今後とも、同窓会各位におかれましては、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とお願いに代えさせていただきます。

同窓生の皆様には、日ごろから本校の教育活動に対しまして、格別に温かな御理解・御協力をいただいておりますこと、また、物心両面にわたる御支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。特に、昨年度は、新型コロナウイルス感染症対応のための臨時休業や学校再開後の活動に対しまして、生徒、教職員に力強く温かい御支援をいただきました。「go for it! 今、苦難の時を皆で乗り越えよう!」。いただいたエールをしっかり受け止めながら、今年度も全職員と共に教育活動に全力で努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、すでに学校ホームページや新聞報道等で御存知の方も多くいらっしゃると思いますが、今年3月、筑摩書房で三好達治全集を担当された方の御家族から、昭和32年、本校校歌が初めて生徒たちにお披露目された際の、三好達治氏講演の音声テープを寄贈していただきました。講演では、4年の歳月をかけた校歌作成までの苦しみや、歌詞に込められた思いなどが切々と語られ、本校歴史にとって貴重なものであるとともに、三好達治氏の生の声にその話に、私自身が大きな感動をいただくこととなりました。そして、4月の始業式で生徒たちに紹介させてもらいました。

三好達治氏が校歌一番に込めたのは、浜名湖の湖水に高い空や四方の山影が映るように、清く平らかな心で学園に向き合い吸収してほしいという願い。二番には、遠くから聞こえる潮騒に耳を傾けるように、時間や空間、意味の上からも遠いものに思いを馳せ、読み取ってほしいとの書物への向き合い方。そして三番には、天竜川に例えながらの時を惜しむ大切さを謳い、四番の「志はるかなれこそ 若き日にかくこそ惜しめ」の願いにつながれたとのこと。

その日から60年以上を経た現在、生徒たちはまさに三好達治氏が校歌に込めた願いを体現してくれていると感じています。そしてそれは、この校歌を歌い、人生の礎となる貴重な学校生活を送られた同窓生の皆様が、現在の校風を築き上げ、「躍進浜名」を押し進めてきてくださったからこそのものであります。

今年は、全日制に369名、定時制に24名の新生を迎え、全校生徒それぞれ1101名、101名の、合わせて1202名で学校生活をスタートいたしました。昨年は4月当初から臨時休校となりましたが、今年度は入学生の初期指導を含め、年度当初の教育活動を進めることができることを、改めてありがたく、うれしいと感じています。中間試験を経て、6月4日、5日には、一般公開は叶わないものの、テーマ「彩虹」の下で、浜名祭を実施することもできました。ビックパネル等の伝統の継承とコロナ禍の中での新たな創造に努め、笑顔と輝きを見せてくれた生徒たちを誇りに思います。また今年度は、無観客ながら高校総体等の大会が開催され、生徒たちも大きな活躍を見せてくれています。今現在、全日製の運動部では、女子ソフトテニス部が全国大会へ、また、陸上部、男女ソフトテニス部、剣道部が東海大会への出場を決めてくれました。文化部は、美術部、書道部、写真部が静岡県代表として全国高等学校総合文化祭に出場、出品します。定時制では、バスケットボール部が県大会を制し、4年連続全国大会出場となりました。「文武両道」「挑戦」をキーワードに、活気ある活動が戻ってきています。同窓生の皆様には、横断幕をすぐに御用意いただくなど、応援をいただき、感謝するばかりです。

さて、お手元の資料には、昨年度、東海大会以上の部活動の記録と、進路結果を掲載していただきました。進路については、この春の卒業生361名のうち、79%の284名が四年制大学、3%の12名が短期大学、13%の46名が専門学校に進学しました。就職は8名であり、進学準備、いわゆる浪人は11名です。四年制大学進学については、資料に大学名を掲載していただきましたが、国公立大学には現役生40名、過年度生3名で、県内では、静岡大学9名、県立大学4名、静岡文化芸術大学6名、浜松医大の看護に1名となっています。また現役生2名が、名古屋大学に進学してくれました。共通テスト等、大学入試改革が進められていく中で、進路課を中心にした熱心な指導を継続し、就職者を含め、一人一人の「志」の実現に尽力していきたいと考えています。

これからの時代を担う生徒たちの「未来創造」のため、また、貴重な高校生活のさらなる充実のため、「志はるかなれこそ 若き日にかくこそ惜しめ」の教育活動を実践してまいります。今後とも、御理解、御支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

認第1号

令和2年度 事業報告

令和2年度の同窓会事業活動を次のとおり報告する。

1 総会

- (1) 令和2年6月 議案書等を郵送し承認に代えた
 - ア 令和元年度事業報告
 - イ 令和元年度各会計収支決算
 - ウ 監査報告
 - エ 令和2年度事業計画(案)
 - オ 令和2年度各会計収支予算(案)
 - カ 第12回大同窓会の案内

2 正副会長会

- (1) 第1回 令和元年6月24日 午後7時 尚友館
 - ア 議案書等発送作業
 - イ 大同窓会の開催可否
 - ウ 今後の行事予定
- (2) 第2回 令和2年9月25日 午後7時 浜名協同センター
 - ア 浜名高校スポーツフェスタ開催対応 ※加藤修也さん来校
 - イ 定時制「先輩と語る会」開催内容
 - ウ 全日制「先輩と語る会」開催内容
 - エ、大同窓会 ※1年延期を検討
- (3) 第3回 令和2年11月19日 午後7時 尚友館
 - ア 全日制「先輩と語る会」講師決定 9人
 - イ 定時制「先輩と語る会」講師決定 鈴木 真幸さん(43回生)
 - ウ 「尚友会の集い」開催可否
コロナの状況見て中止もある
 - エ、大同窓会 ※延期になったが、実行委員はそのまま
- (4) 第4回 令和3年3月25日午後7時 尚友館
 - ア 報告事項
 - ・女子ソフトテニス東海大会出場激励金授与
 - ・定時制3・4年生対象「先輩と語る会」 鈴木真之さん
 - ・定時制同窓会入会式 ※放送
 - ・全日制卒業式 361人

- ・定時制同窓会入会式
- ・定時制卒業式 13人
- ・吹奏楽部オーボエ中部大会、スポーツ合宿参加者激励金授与、女子剣道部

イ、今後の予定

- ・全日制、定時制入学式 ※会長のみ出席依頼

ウ、令和3～4年度同窓会役員 ※活動がなかったことから全員留任を了承

エ、大同窓会 令和4年9月に開催としたい

オ、浜名高校創立110周年事業

- ・令和4年に110周年となるので、記念事業を開催したいと、学校から依頼あり

カ、三好達治さんの講演テープが発見された

- ・浜名高校校歌の作詞をした三好達治さんの記念講演字のテープが関係者から送られてきた

(5) 第5回 令和3年5月25日午後7時 尚友館

ア、報告事項

- ・全日制、定時制入学式が挙行された
- ・吹奏楽部定期演奏会開催された アクト大ホール

イ、同窓会理事会、総会

- ・コロナの感染が拡大していことから中止したい
- ・昨年と同様、議案書を送付して了承していただく

ウ、議案について協議

- ・2年度活動報告 了承
- ・2年度決算報告 了承
- ・3～4年度役員 了承
- ・3年度事業計画 了承
- ・3年度各種予算 了承

オ、決算監査

- ・関係者と日程調整を行い、6月上旬に実施したい

カ、大同窓会

- ・令和4年9月に延期したが、なかなか準備作業が進まない
- ・これ以上の延期は難しいので、飲食なしでも開催していく
- ・110周年事業と、どう調整していくか検討を要する

キ、三好達治さんの講演CD

- ・理事あて、議案書とともに送付したい

3、開催事業（主なもの）

(1) 9月23日 学校で開催されたスポーツフェスタに、リオオリンピックに陸上で出場した卒業生の「加藤修也さん」を同窓会として招待した。

- (2) 11月19日 全日制先輩と語る会 1年生を対象に実施 講師9人
- (3) 1月15日 定時制先輩と語る会 講師～鈴木真幸デンタルクリニック院長
- (4) 2月25日 全日制生徒同窓会入会式 ※会長が出席し放送で挨拶
- (5) 3月 1日 全日制卒業式 361人 ※会長のみ出席
- (6) 3月15日 定時制同窓会入会式
- (7) 3月16日 定時制卒業式 13人 ※会長のみ出席
- (8) 4月7日 全日制、定時制入学式
- (9) 6月 会計監査

◎この他にも、激励金贈呈等が数件ありましたが、ほとんどがコロナの影響で中止されていますので、報告は省略させていただきます。

令和2年度 一般会計収支決算書

収入総額 4, 139, 329 円

支出総額 2, 773, 748 円

差引残額 1, 365, 581 円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位 : 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)	摘 要
1 会 費	3,290,000	2,992,000	△ 298,000	
(1) 同窓会費	3,040,000	2,992,000	△ 48,000	同窓会入会金 (374名)
(2) 尚友会費	250,000	0	△ 250,000	
2 雑収入	500	7	△ 493	預金利息
3 繰入金	0	0	0	
4 繰越金	1,147,322	1,147,322	0	前年度繰越金
合 計	4,437,822	4,139,329	△ 298,493	

*会費：全日制@8,000円×361名・定時制@8,000円×13名→2,992,000円

支出の部

(単位 : 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)	摘 要
1 事務費	80,000	2,308	77,692	
(1) 会議費	20,000	2,308	17,692	会合等経費
(2) 消耗品費	20,000	0	20,000	
(3) 通信費	20,000	0	20,000	
(4) 旅 費	20,000	0	20,000	
2 事業費	2,350,000	1,267,700	1,082,300	
(1) 卒業記念品	500,000	416,494	83,506	卒業証書ファイル (374名)・皆勤賞 (95名)
(2) 学校活動後援費	1,300,000	829,236	470,764	部活動激励金・横断幕・goforitファイル 他
(3) 総会費	200,000	18,970	181,030	議案書・案内郵送料 他
(4) 会員交流費	300,000	0	300,000	
(5) 慶弔費	50,000	3,000	47,000	香典 (1件)
3 名簿整理準備費	50,000	0	50,000	同窓会名簿会員管理基本料
4 ホームページ費	400,000	400,000	0	ホームページ運営管理費
5 大同窓会費	0	0	0	
6 支部等活動費	500,000	100,000	400,000	東京支部活動費
7 雑 費	50,000	3,740	46,260	振込手数料他
8 予備費	7,822	0	7,822	
9 基金会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	基金会計への繰出
合 計	4,437,822	2,773,748	1,664,074	

令和2年度 基金会計収支決算書

収入総額 10,959,566 円
支出総額 0 円
差引残額 10,959,566 円（翌年度へ繰越）

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)	摘 要
1 繰越金	9,959,457	9,959,457	0	前年度繰越金
2 雑収入	3,000	109	△ 2,891	静岡銀行他預金利息
3 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計から繰入
合 計	10,962,457	10,959,566	△ 2,891	

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)	摘 要
1 学校活動後援費	10,000	0	10,000	
2 繰出金	10,000	0	10,000	
3 基金引当金	10,942,457	0	10,942,457	
合 計	10,962,457	0	10,962,457	

令和2年度 財 産 目 録

令和3年3月31日現在

(単位 : 円)

科	目	金	額
I	資産の部		
1	流動資産		
	(1) 現金 (手許現金)	0	
	(2) 預金		
	A 一般会計		
	・ 普通預金 (静岡銀行小林支店)	1,365,581	
	B 基金会計		
	・ 普通預金 (静岡銀行小林支店)	10,657,676	
	・ 定期預金 (とぴあ浜松北浜支店)	301,890	
	流動資産合計		12,325,147
2	固定資産		
	(1) 備品 垂れ幕1・団旗 (ステージ用) 1		
	団旗1・応援用ノボリ5		
	木製書棚1・デジタルカメラ1	0	
	固定資産合計		0
	資産合計		12,325,147
II	負債の部		
1	流動負債	0	
	流動負債合計		0
2	固定負債	0	
	固定負債合計		0
	負債合計		0
	正味財産		12,325,147

監 査 結 果 報 告

浜名高等学校同窓会会則第14条第1項第9号の規定に基づき監査を実施したので、その結果を次のとおり報告する。

監 査 山 崎 育 子

監 査 井 口 恵 丞

記

1 監査を実施した日時及び場所

- (1) 日時 令和3年5月28日(金) 午後6時00分～
- (2) 場所 尚友館

2 監査対象期間

自 令和2年4月1日 ～ 至 令和3年3月31日

3 監査対象

- (1) 一般会計収支状況
- (2) 基金会計収支状況

4 監査の結果

会長から提出された出納関係諸帳簿、証拠書類等に基づき監査したところ、収入支出とも適正に処理されており、正確であることを認める。

第1号議案

令和3・4年度 役員名簿

役 職 名	回 生	氏 名	回 生	氏 名
顧 問	校 長	三 科 真 弓	14	大 橋 敏 男
//	6	松 本 禮 治	19	名 古 政 昭
//	7	渥 美 光 市	22	河 合 利 治
//	8	中 村 功	38	市 川 秀 之
//	11	大 村 邦 男	39	中 沢 公 彦
//	12	岡 本 賢 二	—	—
会 長	22	福 田 幹 男	—	—
副 会 長	24	大 石 勝 也	26	藤 本 多 恵 子
//	24	古 木 正 明	30	西 村 功
//	24	太 田 吉 彦	32	市 川 明 美
//	25	大 城 澄 郎	36	三 上 英
常 任 理 事	22	村 松 久 子	35	金 原 由 直
//	25	内 山 ゆき 系	35	伊 藤 通
//	26	大 原 隆 弘	36	清 水 博 之
//	27	太 田 清 美	36	小 杉 素 充
//	28	山 下 詠 子	36	渥 美 誠
//	28	小 杉 淳 子	36	太 田 清 幸
//	29	佐 宗 朱 実	37	森 島 康 之
//	30	河 野 延 之	37	馬 淵 吉 成
//	30	神 谷 則 夫	37	船 川 積 典
//	31	藤 原 史 子	37	平 田 勝 巳
//	33	平 田 晴 久	37	小 杉 知 子
//	33	吉 山 真 三	38	高 木 智 章
//	33	岩 崎 英 浩	38	久 米 秀 幸
//	34	森 和 秀	38	久 米 雅 之
//	34	森 下 博 正	38	杉 本 芳 直
//	34	北 野 明	39	大 城 秀 寛
//	35	永 田 治	39	鈴 木 智 恵
監 査	37	山 崎 育 子	42	井 口 恵 丞

＝ 東京支部 ＝

相 談 役	27	小 杉 一 朗
支 部 長	35	林 典 彦
副 支 部 長	32	新 井 栄 司
副 支 部 長	48	内 山 桂 一
会 計	30	原 美 佐 子
監 査	32	高 野 恵 美 子

第2号議案

令和3年度事業計画

1 基本方針

拠点高校である浜名高校への支援拡充

依然として新型コロナウイルスの収束が見られないことから、積極的な同窓会活動ができないでいます。これは生徒たちも同じで、部活動も思うようにできていません。

このため、同窓会では可能な限り物心両面において支援を行い、生徒たちを支える活動、援助をしていきたいと思えます。

2 事業計画

- (1) 部活動の活躍を激励する意味で、全国大会や東海大会等に出場する場合は、引き続き横断幕の掲示や激励金授与式を開催します。また個人にも縮小した横断幕を贈り喜ばれています。
- (2) 全日制1年生を対象に行っている「先輩と語る会」が好評であるため本年度も新たな講師を選び実施してまいります。
- (3) 定時制生徒を対象にした講演会や支援イベントを実施していますが、この内容を充実して実施してまいります。
- (4) 同窓生や学校関係者の情報交換や親睦を図るための「尚友会の集い」はコロナの状況を見るなかで開催の可否を決めてまいります。
- (5) 引き続き東京支部の活動を支援していくとともに、在校生にも東京支部を紹介してまいります。
- (6) 会員団体（クラス会・部OB会等）が行う催しに対する運営費の助成を、引き続き実施してまいります。
- (7) 同窓会の活動や学校の出来事を紹介するためホームページを開設していますが、これの充実を図ってまいります。
- (8) 第12回大同窓会開催を令和4年9月に開催することとなるため、実行委員会の活動を支援するとともに、卒業生に広くPRしてまいります。
- (9) 令和4年度は、浜名高校が開設110周年となるため、この記念事業を行う活動を学校や後援会などとともに開始いたします。

令和2年度 一般会計収支決算書

収入総額 4, 139, 329 円

支出総額 2, 773, 748 円

差引残額 1, 365, 581 円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位 : 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)	摘 要
1 会 費	3,290,000	2,992,000	△ 298,000	
(1) 同窓会費	3,040,000	2,992,000	△ 48,000	同窓会入会金 (374名)
(2) 尚友会費	250,000	0	△ 250,000	
2 雑収入	500	7	△ 493	預金利息
3 繰入金	0	0	0	
4 繰越金	1,147,322	1,147,322	0	前年度繰越金
合 計	4,437,822	4,139,329	△ 298,493	

*会費：全日制@8,000円×361名・定時制@8,000円×13名→2,992,000円

支出の部

(単位 : 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)	摘 要
1 事務費	80,000	2,308	77,692	
(1) 会議費	20,000	2,308	17,692	会合等経費
(2) 消耗品費	20,000	0	20,000	
(3) 通信費	20,000	0	20,000	
(4) 旅 費	20,000	0	20,000	
2 事業費	2,350,000	1,267,700	1,082,300	
(1) 卒業記念品	500,000	416,494	83,506	卒業証書ファイル (374名)・皆勤賞 (95名)
(2) 学校活動後援費	1,300,000	829,236	470,764	部活動激励金・横断幕・goforitファイル 他
(3) 総会費	200,000	18,970	181,030	議案書・案内郵送料 他
(4) 会員交流費	300,000	0	300,000	
(5) 慶弔費	50,000	3,000	47,000	香典 (1件)
3 名簿整理準備費	50,000	0	50,000	同窓会名簿会員管理基本料
4 ホームページ費	400,000	400,000	0	ホームページ運営管理費
5 大同窓会費	0	0	0	
6 支部等活動費	500,000	100,000	400,000	東京支部活動費
7 雑 費	50,000	3,740	46,260	振込手数料他
8 予備費	7,822	0	7,822	
9 基金会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	基金会計への繰出
合 計	4,437,822	2,773,748	1,664,074	

令和3年度 基金会計収支予算書

収入総額 11,962,566 円

支出総額 11,962,566 円

差引残額 0 円

収入の部

(単位 : 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	10,959,566	9,959,457	1,000,109	前年度繰越金
2 雑収入	3,000	3,000	0	預金利息
3 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計から繰入(前年同額)
合 計	11,962,566	10,962,457	1,000,109	

支出の部

(単位 : 円)

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 学校活動後援費	10,000	10,000	0	
2 繰出金	10,000	10,000	0	
3 基金引当金	11,942,566	10,942,457	1,000,109	
合 計	11,962,566	10,962,457	1,000,109	

(科目間の流用を認める)

資料 1

静岡県立浜名高等学校同窓会（尚友会）会則

第 1 章 名称、位置

第 1 条 本会は、静岡県立浜名高等学校同窓会（尚友会）と称する。

第 2 条 本会の事務所は、静岡県立浜名高等学校内（浜松市浜北区西美園 2 9 3 9 の 1）に置く。

第 2 章 目 的

第 3 条 本会は、会員相互の親睦を厚くし、母校との関係を密にして母校の発展に寄与し、進んで社会奉仕の一端を負担しようとする。

第 3 章 会 員

第 4 条 会員を分けて、正会員と客員の二種とする。

第 5 条 浜名高等学校及びその前身である北浜、笠井教場に於いて教育を受けたものを正会員とする。

第 6 条 前条の学校の現、旧職員を客員とする。

第 4 章 会 計

第 7 条 本会の経費は、下記の収入をもってこれに充てる。

(1) 入会金 正会員は、入会の際 5, 0 0 0 円を納入するものとする。

(2) 会費 正会員は、入会の際終身会費 3, 0 0 0 円を納入する。

(3) 基本金の利子

(4) その他の収入

第8条 本会の財産の管理方法は、理事会において定め、会長がこれを管理する。現金はこれを郵便官庁、銀行、信用金庫、農協又は信託会社に預け入れ、もしくは信託し、或いは国債確実なる有価証券に換え保管する。

第9条 本会の資産は、第2章の目的達成のため以外に使用してはならない。

第10条 会計年度は、4月1日に始まり翌3月31日に終わる。

第11条 予算、決算は、理事会に附議するものとする。

第5章 事業

第12条 第2章目的を達成するために、下記の事業を行うことができる。

(1) 会員の弔悼

(2) 会誌、名簿を配布する。これについては、実費を徴収することができる。

(3) 講習会、講演会

(4) 母校に対する後援

第6章 役員

第13条 本会に、下記の役員を置く。

(1) 会長 1名 正会員中から選出する。

(2) 副会長 若干名 正会員中から選出する。

- (3) 顧問 若干名 学校長、歴代会長等から会長が依頼する。
- (4) 常任理事 50名以内 正会員中から選出する。
- (5) 理事 各学年若干名 正会員中より常任理事会で選出する。
- (6) 支部長 各支部1名 各支部中から選出する。
- (7) 副支部長 各支部2名 各支部中から選出する。
- (8) 幹事 各分会1名 各分会中から選出する。
- (9) 庶務 各分会3名 会員、客員中から会長が委嘱する。
- (10) 監査 2名 理事の中から会長が委嘱する。

第14条 役員の任務は、下記のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し会務を総理し、会議の議長となる。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
- (3) 顧問は会長の諮問に応じ、会務に参画する。
- (4) 常任理事は常任理事会を組織し、会務の執行に当る。
- (5) 理事は理事会において会務につき協議する。
- (6) 支部長は支部を代表し、支部会を招集することができる。
- (7) 幹事は分会を代表し、分会と支部並びに常任理事との連絡を密にする。
- (8) 庶務は書記、会計の事務を組織し、会務の執行に当る。
- (9) 監査は会計の監査に当る。

第15条 役員の任期は2カ年とする。但し留任を妨げない。

第7章 会 議

第16条 本会は毎年1回総会を開く。又必要に応じて臨時総会を開くことができる。

第17条 下記事項は総会に附議するものとする。

(1) 会務の報告

(2) 予算、決算の報告

(3) 役員の選任

(4) 会則の変更

(5) その他の重要事項

第18条 会議の議決は出席者の過半数の同意を必要とする。

第19条 常任理事会は本会の執行部として会長を助け業務を企画し、総会もしくは理事会の議を経てこれを実施する。

第20条 理事会は総会で委嘱された事項の処理、総会に提出する議案の作成その他必要事項を議決する。

第21条 本会は必要に応じて専門委員会を設けることができる。

第22条 本会は必要に応じて支部を置くことができる。

第8章

第23条 本会の会務を処置するため事務局を置き、有給の職員を置くことができる。

附 則

ア 分会、支部は次のとおりとする。

① 分会は学級、地区、クラブＯＢ、職場、県人会等のいずれにて構成してもよい。

但し、重複は妨げない。

② 支部は地区分会の集合で構成する。

イ 本会の定期総会は経費節減のため開催通知を用いず、毎年６月第２日曜日に１４時から行うものとする。

ウ 平成２１年６月１４日改正

資料2

浜名高校同窓会役員等慶弔内規

浜名高校同窓会役員及び学校関係者の慶弔については、次のとおりとする。

なお、役員とは歴代会長及び現職の顧問、会長、副会長、監査、常任理事をいい、
学校関係者とは校長及び副校長、教頭、事務長をいう。

1 結婚祝金等

本人が結婚した場合	10,000円の祝金
	祝電

2 弔慰金等

本人が死亡した場合	10,000円の香料
	弔電

3 見舞金

本人が病気又は傷害等で、15日以上入院した場合	5,000円
-------------------------	--------

4 その他

この内規に定めのない事項は、正副会長会で協議し決定する。

この内規は、平成30年6月10日から適用する。